



過去に学び、現在を生き抜き、夢と志を持って歩むとしまの子

第79号
令和2年11月
発行

教育だより豊島

TOSHIMA
International City
of Arts & Culture
国際アート・カルチャー都市としま



誰一人取り残すことのない教育を



区立小・中学校で、一人1台タブレットPCの貸与開始

豊島区の区立小・中学校では、全児童・生徒へのタブレットPCの配布が9月中に完了し、一人1台体制を整えました。新学習指導要領の目指す「主体的・対話的で深い学び」を踏まえた、学習活動の道具として大いに活用し、子供たち個々人に合わせた学びの充実を図っていきます。

タブレットPCの多様な活用

子供たちは、タブレット PC を学習道具として家から学校に持って登校します。学校の授業や家庭学習のなかで、様々な機能を日常使いできる学習環境を目指していきます。まずは簡単な機能を繰り返し使い、慣れ親しむことに重点を置いています。

各学校での授業例

【さくら小学校】

総合的な学習の時間では、「オクリンク」と「ムーブノート」の使い方を学習しました。「オクリンク」の使い方を知るために、文字を組み合わせて言葉のクイズを作りました。個々が作ったクイズを先生に送ると、瞬時に電子黒板に一覧で表示され、全員で意見を出し合い答えを見つけ出していました。また、「今日の朝ごはん」を題材に、「ムーブノート」を使って、入力のかたや送り方、意見の共有のかたを学習しました。手書きでも簡単に入力ができ、意見をまとめて簡単に比較できるため、発表ツールとして活用の幅が広がります。子供たちは分からないところを教え合い、楽しみながら学んでいました。



【西巣鴨小学校】

4年生は、総合的な学習の時間を使って、SDGsの達成の年である「10年後の自分と世界」をテーマに今自分たちができることを、タブレットを用いてグループで意見を出し合い、クラス全体で共有していました。タブレットを使って意見を積極的に発信している姿が印象的でした。子供たちからは、「宿題もタブレットでやっているんだよ!」「タブレットを使った授業もとても楽しくて、うれしい!」という前向きな声がありました。



担任の先生からは、「体育の授業では、タブレットで子供たちの跳び箱の跳び方動画を撮影し、自分の動作とお手本を比較して復習したことで、翌日には跳べなかった子が跳べるようになった。」というお話も伺いました。



教員研修や、授業開発

学校では、これまでICTを活用した授業の実践を積み重ねてきました。さらに一人1台タブレット体制を最大限に活用するために、教員への研修の充実させます。

また、ICTを活用した授業例を小中学校全体で共有するなど、タブレットPCを効果的に活用し、より深い学びを追求します。



▲各校長先生に対するオンライン研修

タブレットPCについて



- 機種：Chromebook（クロームブック）
- 使用学習支援ツール：Google G Suite for Education
- 使用学習支援ソフト：(株)ベネッセコーポレーション「ミライシード」

子供たちへの情報教育の推進

個人情報の漏えいや著作権の侵害についてなど、情報に関する知識や技能の習得を目指し、正しい情報知識を持ったうえで、日常の学習道具としてタブレットPCに親しみが持てるよう、児童・生徒の情報モラルの向上に取り組んでまいります。

お問合せ 庶務課庶務グループ/3981-1141